

## 2年生 職場体験学習 ゲストティーチャーを迎えて

2年生では、キャリア教育の一環として10月に「職場体験学習」として地域内の職場（事業所）で3日間、仕事体験をさせてもらうことになっています。

キャリア教育とは、一人一人の社会的・職業的自立に向けて必要な基盤となる能力や態度を育てることを通して、キャリア発達（社会の中で自分の役割を果たしながら、自分らしい生き方を実現していく過程）を促す教育のことです。

職場体験学習を控えて、6月15日（水）にハローワーク和歌山ワークプラザ河北の学卒ジョブサポーター 中村 奈保子 氏に来校いただき「働くことの意味」についてDVDを交えて講話をいただきました。



社会的・職業的自立に向け必要な基盤となる能力や態度を「基礎的・汎用的能力」といいます。

「基礎的・汎用的能力」の具体的内容については、「仕事に就くこと」に焦点を当て、実際の行動として表れるという観点から、①人間関係形成・社会形成能力、②自己理解・自己管理能力、③課題対応能力、④キャリアプランニング能力の4つの能力に整理できます。

①人間関係形成・社会形成能力	②自己理解・自己管理能力	③課題対応能力	④キャリアプランニング能力
多様な他者の考えや立場を理解し、相手の意見を聴いて自分の考えを正確に伝えることができるとともに、自分の置かれている状況を受け止め、役割を果たしつつ他者と協力・協働して社会に参画し、今後の社会を積極的に形成することができる力	自分が「できること」「意義を感じること」「したいこと」について、社会との相互関係を保ちつつ、今後の自分自身の可能性を含めた肯定的な理解に基づき主体的に行動すると同時に、自らの思考や感情を律し、かつ、今後の成長のために進んで学ぼうとする力	仕事をする上での様々な課題を発見・分析し、適切な計画を立ててその課題を処理し、解決することができる力	「働くこと」を担う意義を理解し、自らが果たすべき様々な立場や役割との関連を踏まえて「働くこと」を位置付け、多様な生き方に関する様々な情報を適切に取捨選択・活用しながら、自ら主体的に判断してキャリアを形成していく力
具体的な要素（例）	具体的な要素（例）	具体的な要素（例）	具体的な要素（例）
他者の個性を理解する力、他者に働きかける力、コミュニケーション・スキル、チームワーク、リーダーシップなど	自己の役割の理解、前向きに考える力、自己の動機付け、忍耐力、ストレスマネジメント、主体的行動など	情報の理解・選択・処理等、本質の理解、原因の追究、課題発見、計画立案、実行力、評価・改善など	学ぶこと・働くことの意味や役割の理解、多様性の理解、将来設計、選択、行動と改善など